

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大森北B計画新築工事	階数	地上13F
建設地	東京都大田区	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	147 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2022年4月4日
敷地面積	528 m ²	作成者	野川 亜矢子
建築面積	300 m ²	確認日	2022年4月4日
延床面積	3,324 m ²	確認者	株式会社三輪設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> 東京都大田区に建設される集合住宅である。 高い外皮性能を計画し、省エネルギーで快適な室内環境を整えられるよう努めた。 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<ul style="list-style-type: none"> サッシや床材等は、遮音性能の高いものを採用し、室内の音環境の向上に配慮している。 開口部を大きくとり、昼光利用に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 躯体は住宅性能評価の劣化対策等級2相当とし、設備は耐用年数の長い配管を採用して更新必要間隔を長くするように努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺建物との調和や敷地内の緑化計画により、良好な景観形成に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<ul style="list-style-type: none"> 断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 発泡剤は汚染物質含有材料の使用を避けた計画としている。 	<ul style="list-style-type: none"> 屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される